

**静岡県で最大級のルーフトップ型太陽光発電所
「富士市西部浄化センター太陽光発電所」(約1.2MW)が
ソーラーパワーネットワークと国際ランド&ディベロップメントにより完成**

カナダ発で太陽光発電システムの屋根貸しビジネスを全国展開するソーラーパワーネットワーク株式会社(本社:東京都千代田区 CEO兼社長:ピーター・グッドマン、以下「SPN」)は静岡県富士市(市長:小長井義正)で建設していた富士市西部浄化センター太陽光発電所を竣工し、このたび3月26日に開所式を執り行いました。

本事業は富士市が公募を行った「終末処理場屋根貸し太陽光発電事業」において、SPNと国際ランド&ディベロップメント株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金丸直幹、以下「国際L&D」)が共同事業者として採択され、SPNが設計・開発を行い、国際L&Dが建設を担当しました。出力規模は約1.2MWと静岡県では最大級のルーフトップ型太陽光発電所です(年間発電量は一般家庭の約310世帯に相当)。発電した電力は「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」にのっとり、全量を東京電力株式会社に売電いたします。

本事業は下水処理場の屋上を発電所として有効利用しながら、再生可能エネルギーの利用を促進する試みです。また西部浄化センターは「津波避難ビル」に指定されているため、災害時には直接電気を利用できる非常用電源の設備を備えつけました。

SPNと国際L&Dの合同事業体は現在、同市内の東部浄化センターでも屋上型太陽光発電所の建設プロジェクトを進行中で、2つの発電施設を合わせた合計出力は約2.3MW(直流)、一般家庭の約600世帯の消費電力に相当する規模になります。両発電所ともに「電気の見える化」を通しての環境教育など本施設を活用した地域づくり、まちづくりに取り組んでいます。

本発電所はソーラーパワーネットワークが日本で竣工する屋上型太陽光発電所の第一号でもありません。

「富士市でクリーンな再生可能エネルギーを供給する施設を開発し、地域の皆様に貢献できるのはSPNにとってこのうえない喜びです。SPNの基本理念はクリーン・エネルギーの地産地消を促進することであり、日本でその第一歩を踏み出したことを誇りに思います」、SPNのCEO兼社長、ピーター・グッドマンは述べています。

富士市西部浄化センター太陽光発電所



実際に電気を使用する地域住民の方も交えての富士市西部浄化センター太陽光発電所 開所式





【富士市西部浄化センター太陽光発電所 概要】

発電所名称	富士市西部浄化センター太陽光発電所
所在地	静岡県富士市宮島 1260 番地
出力（直流）	約 1.2 MW（1,211.76 キロワット）
パネル枚数	4,752 枚
想定年間発電量	約 1,176MWh
事業主	ソーラーパワーネットワーク株式会社と国際ランド&ディベロップメント株式会社の共同事業体

【ソーラーパワーネットワーク株式会社（SPN）とは】

SPN はサステイナブルな未来の到来を目指し、カナダ、トロントで創業した屋根貸し事業専門の分散型電源企業です。現在、カナダ・オンタリオ州と日本をあわせて合計 300 万平方メートルにおよぶ屋上や駐車場において、クリーンで安全、かつ経済的な電力を供給する太陽光発電施設を設計、施工、運転しており、その規模はオンタリオと日本で最大です。電力が必要とされる地域で、使われていない屋上や駐車場を使って電気を生成すれば、大規模発電所や送電網を増設することなく、エネルギーの地産地消を進めることができます。

【お問い合わせ】

ソーラーパワーネットワーク株式会社

マーケティング・ディレクター 鈴木

Tel: 03-6268-0916 Fax: 03-6268-0917 Email: press@solarpowernetwork.co.jp

<http://solarpowernetwork.co.jp>